

川口領事事務所長のバイヨン寺院等修復現場視察

13日、川口領事事務所長は、日本政府・アプサラ共同チーム(JASA)の石塚充雅技術補佐の案内で、ユネスコ文化遺産保存日本信託基金プロジェクトのバイヨン寺院の修復現場を視察しました。小雨が降る中でしたが、カンボジア人現場技術スタッフは、熱心に作業に取り組んでおられました。

日本国政府アンコール遺跡救済チーム(JSA)は1994年に結成され、バイヨン、アンコール・ワット、プラサート・スープラで修復活動を実施した後、2005年からはアプサラ機構との合同チームJASAを結成し、中央塔の恒久的安定化などのバイヨン寺院での各種修復・研究活動に取り組んでいます。

その後、川口所長は、奈良文化財研究所による西トップ寺院修復現場及び東京文化財研究所によるタネイ寺院修復現場を視察しました。

